

令和元年度事業の概要

財団の設立目的である神奈川県内の医学・医療水準の向上を目指して、医学研究助成をはじめ、医学教育等助成、医学・医療啓発事業などを行いました。

医学研究助成については、梅原清氏のご寄附によって設立された梅原基金による推進研究助成は、令和元年度開始研究2件、継続研究2か年度各3件、総額900万円の助成とともに、第8回梅原賞の授与を行いました。このほか、将来性ある若手研究者へのわかば研究助成や、指定寄付研究助成など以下に記載の助成を行っております。

市大教育等助成では、28 年度に開始した学術講演会助成を引き続き行いました。

《研究等助成事業》

①	推進研究助成 新規分	2 0 0	万円	2 件
	同上 継続分	6 0 0	万円	6 件
	梅原賞	1 0 0	万円	1 件
②	わかば研究助成	6 0 0	万円	1 2 件
③	医療技術研究助成	8 0	万円	4 件
④	医学・医療関連事業助成	2 0 0	万円	5 件
⑤	指定寄附研究助成	3 0	万円	1 件
	①～⑤ 小 計	1, 8 1 0	万円	3 1 件

《横浜市大教育等助成事業》

⑥	大学院優秀論文賞	19	万円	1件
⑦	学生自主の活動助成	44.8	万円	16件
⑧	学術講演会助成	28	万円	6件
⑥～⑧	小計	91.8	万円	23件

《医学・医療啓発事業》

149 万円

合 計	2,050.8 万円	54件
-----	------------	-----

1 研究助成事業

(1) 推進研究助成 計 8件 800万円

1 令和元年度開始研究 2件 計 200万円

- ① 藩 龍 馬 横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学 100万円
「自己免疫疾患における形質細胞様樹状細胞の機能疲弊についての解析」
- ② 高 橋 秀 尚 横浜市立大学大学院医学研究科 分子生物学 100万円
「新規の転写伸長制御因子 Med26 の機能解明」

2 平成30年度開始研究 3件 計 300万円

- ① 阿 部 弘 基 横浜市立大学医学部 生理学 100万円
「リハビリテーション促進薬の客観的臨床評価指標の開発」
- ② 國 本 博 義 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学 100万円
「炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成」
- ③ 加 藤 真 吾 横浜市立大学附属病院 がんゲノム診断科 100万円
「ヒトオルガノイド細胞株を用いたがんクリニカルシーケンス意義不明変異の機能評価法の確立」

3 平成29年度開始研究 3件 計 300万円

- ① 立 石 健 祐 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 100万円
「IDH1 変異が及ぼす DNA 修復機構変化の解明と合成致死に基づく治療法の開発」
- ② 宮 川 敬 横浜市立大学大学院医学研究科 微生物学 100万円
「HIV 潜伏感染に関わる宿主因子の探索と機能解析」
- ③ 蓮 見 壽 史 横浜市立大学医学部 泌尿器科学 100万円
「Birt-Hogg-Dubé (BHD)関連腎癌をモデルとした新規腎癌治療薬開発のための創薬基盤確立」

4 梅原賞 1件 計 100万円

- 黒 滝 大 翼 横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学
「単球・樹状細胞分化を制御する遺伝子発現制御機構の解明」

(2) わかば研究助成 計 12 件 600 万円

- ① 増 川 太 輝 横浜市立大学医学研究科 分子薬理神経生物学 50 万円
「L-DOPA 受容体 GPR143 とアドレナリン $\alpha 1$ 受容体との機能関連および
その生体内役割の解析」
- ② 橋 口 俊 太 横浜市立大学大学院医学研究科 神経内科学 50 万円
「脊髄小脳失調症 42 型のモデルマウスを用いた神経変性分子病態基盤の解明と
治療法開発」
- ③ 三 留 拓 横浜市立大学医学部 泌尿器病態学 50 万円
「FLCN とクロマチン再構成遺伝子群のダブルノックアウトによる BHD 関連
腎癌新規マウスモデルの構築及びクロマチン因子の解析」
- ④ 中鍛治 里 奈 横浜市立大学大学院医学研究科 循環制御医学 50 万円
「新規磁性抗癌剤を用いた口腔癌治療法の開発」
- ⑤ 笹 目 丈 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 50 万円
「中枢神経系原発悪性リンパ腫におけるミクログリアが腫瘍形成に及ぼす機構
の解明と新規治療法の開発」
- ⑥ 関 原 和 正 横浜市立大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能制御学 50 万円
「M2 マクロファージおよび骨髄由来免疫抑制細胞の口腔がん予後予測マーカー
としての可能性」
- ⑦ 栗 田 裕 介 横浜市立大学附属病院 消化器内科 (肝胆膵) 50 万円
「サルコペニアマウスモデルを用いた骨格筋量が膵癌化学療法に与える影響の
解析」
- ⑧ 乙 竹 泰 横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学 50 万円
「単球、マクロファージにおける IRF8 発現異常を軸とした全身性強皮症における
血管障害の病態解明」
- ⑨ 大 竹 慎 二 横浜市立大学大学院 泌尿器科学 50 万円
「チロシンキナーゼ遺伝子 ALK の変異から起こる腎癌発生機序の解明と新規腎癌
治療薬創薬基盤の確立」
- ⑩ 古 宮 裕 泰 横浜市立大学大学院医学研究科 神経内科学 50 万円
「単球系細胞から捉えた神経変性疾患の病態機序解明」
- ⑪ 福 永 久 典 湘南鎌倉総合病院 放射線治療研究センター・放射線科 50 万円
「微小管の重合反応に対する放射線影響の検討」

- ⑫ 三宅 茂太 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 50 万円
「DNA 修復機構を標的とした IDH 変異神経膠腫に対する特異的治療の開発」

(3) 医療技術研究助成 計 4 件 80 万円

- ① 馬場 薫 横浜市立大学大学院医学研究科 看護学 20 万円
「特別養護老人ホームに勤務する看護職の就業継続意向に関連する要因の検討」
- ② 大澤 翔 横浜市立大学大学院医学研究科 周麻酔期看護学 20 万円
「看護師によるマスク換気におけるヘッドバンドの使用がマスクフィットに与える影響-気道シミュレーターを用いたクロスオーバー試験-」
- ③ 大浦 令未奈 横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部 20 万円
「学童期にある小児慢性腎臓病の子どもの治療アドヒアランスの実態とその関連要因」
- ④ 菅野 雄介 横浜市立大学医学部看護学科 成人看護学領域 20 万円
「がん診療連携拠点病院におけるがん看護の質の維持・向上に向けた経年的評価システムの構築に関する研究」

(4) 医学・医療関連事業助成 計 5 件 200 万円

- ① 山田 顕光 横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学 50 万円
「乳癌多施設共有データベースの構築」
- ② 片山 佳代子 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部 50 万円
「神奈川県におけるがん教育外部講師の確保・養成・研修支援に関する取組み」
- ③ 畑 千秋 横浜市立大学附属病院 看護部 50 万円
「地域がん診療連携拠点病院におけるがん患者と家族へのオリエンテーションプログラムの開発」
- ④ 西巻 滋 横浜市立大学附属病院 臨床研修センター 25 万円
「横浜市立大学附属 2 病院で出生した母子の母乳率調査（母親の電子端末を使用した研究）」
- ⑤ 土肥 眞奈 横浜市立大学医学部 看護学科 老年看護学 25 万円
「高齢心不全患者に対する advance care planning (ACP) 実践状況と実践を促進、阻害する要因の整理」

(5) 指定寄附研究助成 計 1件 30万円

(腎臓がん関係)

軸 屋 良 介 横浜市立大学附属病院 泌尿器科・大学院生

「FLCN/Fnip1/Fnip2 遺伝群のノックアウトマウスを用いた機能解析」

2 横浜市大教育等助成事業

(1) 大学院優秀論文賞 計 1件 19万円

- ① 田 村 智 彦 横浜市立大学大学院 医学研究科長
大学優秀論文賞

次の4名に横浜市立大学大学院優秀論文賞の副賞を授与した。

最優秀論文賞 副賞 10万円 1名

橋 口 俊 太 (神経内科学・脳卒中医学)

優秀論文賞 副賞 3万円×3名

菅 原 陽 (麻酔科学)

Aladeokin Aderemi Caleb (薬理学)

清 水 康 博 (消化器・腫瘍外科学)

(2) 学生自主的活動助成 計 16件 44.8万円

- ① 「インドネシアフィールドワーク及び IACSC 学会発表」

大 田 悠 加	横浜市立大学医学部看護学科 3 年	4 万円
大 谷 紗 良	〃	4 万円
桐 原 ゆ い	〃	4 万円
小 山 茜	〃	4 万円
細 川 真由子	〃	4 万円

- ② 「米国の大学・附属病院における重症、希少疾患患者に対する高度看護
実践と教育・研究に関する研修」

篠 崎 滢	横浜市立大学医学部看護学科 4 年	5 万円
渡 辺 も え	〃	5 万円
沼 田 日菜子	〃	5 万円

- ③ 「日本解剖学会総会全国学術集会」参加と学生セッションにおいての研究成果発表

阿 部 直 樹	横浜市立大学医学部 3 年	1.4 万円
山 田 康 平	〃	1.2 万円
青 木 遥	〃	1.2 万円
古 川 大 期	〃	1.2 万円
川 内 翔一朗	横浜市立大学医学部 2 年	1.2 万円

柳 瀬 桃 子	〃	1.2 万円
藤 井 拓 海	〃	1.2 万円
内 山 琴 音	〃	1.2 万円

(3) 学術講演会助成 計 6 件 28 万円

- | | | |
|---------|---|------|
| ① 五嶋 良郎 | 横浜市立大学大学院医学研究科 分子薬理神経生物学
「神経生物学セミナー（主催：分子薬理神経生物学）」 | 5 万円 |
| ② 宮城 悦子 | 横浜市立大学医学部 産婦人科
「女性医学セミナー」 | 5 万円 |
| ③ 古屋 充子 | 横浜市立大学医学研究科 分子病理学
「第 8 回神奈川婦人科臨床病理研究会」 | 3 万円 |
| ④ 石上 友章 | 横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学
「第 16 回漢方医学ユニット合同研修会」 | 5 万円 |
| ⑤ 富澤 信一 | 横浜市立大学医学部 組織学
「Epigenetics and Chromatin Dynamics Meeting 第 4 回」 | 5 万円 |
| ⑥ 富澤 信一 | 横浜市立大学医学部 組織学
「Epigenetics and Chromatin Dynamics Meeting 第 5 回」 | 5 万円 |

3 医学・医療啓発事業

(1) 事業年報及び研究助成報告書の刊行 計 145 万円

事業年報

研究等報告書抄録集(学生自主的活動・学術講演会助成報告書掲載)

「ハマの医学校物語」増刷

(2) シモンズ墓所 青山霊園 計 3.9 万円

墓所管理費等

4 横浜市立大学附属 2 病院内の売店経営

横浜市立大学附属の 2 病院内の売店を経営し、"売店は、患者さんのオアシス"をモットーに、患者さんや病院職員等に医療衛生用品や日用品、お弁当や飲料などを販売しました。

両売店の売上純利益については、経営安定化準備金を除く全額を公益事業に繰り入れていきます。平成 28 年度から医療衛生用品を取扱商品の主力とするなどさまざまな経営改善を実施しております。

5 賛助会員の募集

平成24年度から賛助会員の募集を行っております。令和元年度の会員数は260名でした。また、61件のご寄附が寄せられました。

6 ご寄付のPR

賛助会会員、俱進会会員の皆様のほか多くの方々から御寄付をいただけますよう本財団の趣旨、事業内容や実績等をあらゆる機会をとらえ、広くPR致しました。